



銀座分会 NEWS LETTER①

労働組合
三越伊勢丹支部
銀座分会

2026.3.10

SPECIAL

服部 裕一さん(三越銀座店第1営業部営業部長)

銀座店ではたらく皆さまへ ステージAの皆さまと話す機会の創出や、ご自身のキャリアを考える上でのきっかけを提案したいと考え、組合広報チームでステージAの皆さまにインタビューさせていただきました！

【仕事・キャリア】入社時思い描いていたキャリアを、今、歩まれていますか？

1999年三越入社(銀座店)。総務部長に配属の希望を聞かれ「どこでもいいです」と伝えたら食品に。食品担当として、品出しや接客などをおこない1年経過。2年目も菓遊庵で全商品の価格を覚えて接客に明け暮れ、トヨタなど他社に入社した友人の話聞いては、辞めたいと思っていました。

転機は3年目。三越労働組合の中央の委員長を経験された方が食品の部長として赴任。同時に部長席の担当になり経営を学ばせてもらいました。さらに、部長から“社長がこんなことを言っていた”とか、“こんなことを考えている”などの情報をもろう中で、“会社を動かしていることがカッコいいな”と感じ、将来、三越の社長になろうと思いはじめました。

その後は、採用などをおこなう総務人事や銀座店の増床モデル(化粧品・食品など)の窓口担当を経験。2015年にASMやABの経験もないまま、食品の和菓子や総菜のSMに。その間、ステージA HAPを受け、2022年から銀座店の営業部長の任命を受けました。

正直、入社時は自分のキャリアや目標を思い描いていませんでした。あまり会社を知っていなかったと思います。3年目に当時の部長から社長や会社の中核で交わされている情報を聞く中で意識が変わり、その後、三越と伊勢丹統合時に伊勢丹出身のメンバーと話した時に、社長は無理だと思ったり(笑)、方向転換をして、銀座店の店長になりたいと考えるようになりました。…そう振り返ると自分が思い描いているキャリアに限りなく近づいていると思います。銀座だけではなく、新宿や日本橋など他店に行きたい気持ちもありますが、今、いろんなことを経験させてもらっているのでありがたいと実感しています。

また、自分のキャリアを振り返る上で恩師と思える部長が4人います。店長や部長と話をすると宿題が来るんじゃないかと避ける人もいかもしれませんが、自分はよく話すようにしていました。実際、1回の答申で済んだり、店長・部長の意向を理解していることは大事だと思います。

【仕事・プライベート】ストレスの発散法は？

惣菜SMの時に、家庭や自分の病気のこと、大きなクレームや売上未達の状況などが重なった時は、昼休みに首都高の先にある公園に行って気分転換していました(笑)。

あとは、誰かに愚痴を言ったり、部長の悪口を言って笑わせたり。とにかく誰かに話すと楽になります。今は店長や商品部長に相談しアドバイスをもらっています。



【仕事】大きな失敗や経験はありますか？

リベンジできているので失敗と言われてなかなか思い出せなかったのですが、一つ思い出しました。

部長で赴任した年のクリスマス。クリスマスケーキを受け過ぎてしまい、受付までに2時間、お渡しまでに1時間半と、約3時間もお客さまをお待たせしてしまい、店・営業部総出でお詫びをしながら対応したことがありました。

その後のスコーン展では、6時頃から並ばれる200名程のお客さまを事前に9階にあげさせていただいて、くつろいだ中で待っていただくなど、改善につなげることができました。

【仕事】大事にしていることは？

目的はその人がどんな人なのか、人を知ることであり、その手段は自分を信頼してもらうことだと思います。自分のことを言わないくせに「教えてよ」と言っても、警戒して話してくれません。自分はこういう人だということをごんごんな場面でも伝えることによって、お互いを知って気持ちが通う空気感が生まれると思います。朝礼の時も同じです。「昨日こんなことがあったよね」とか、みんなを笑わせてやろう！という感じで朝礼をおこなってきました。常に自分を知ってもらい、その人のことを知ることを意識しています。

【プライベート】興味があることは？

ゴルフ。6時間くらい4人で行動を共にするので人間性が見えてくるところが面白いです。それと、将来、茨城の海沿いの戸建て住宅を購入してゆったりコーヒーを飲んで釣りに行く日々にあこがれています。キャンピングカーもほしいです。

～服部さん、ありがとうございました!!～

【問合せ先】渡邊 敦紀(分会長)・藤野宏美・池谷直美・黒川三千代・長井成美・菅野広太

銀座分会
組合役員紹介広報

発行人：
労働組合銀座担当 阿部美紀



三越伊勢丹支部
Viva engage



IMGU LINE

